

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 060	提案機関名 神奈川県畜産会養鶏部会
要望問題名 かながわ銘柄鶏の飼養管理技術の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 鶏卵直販経営支援の向上を図る目的で国、県がかながわ銘柄鶏の開発を行った。 しかし、肉用鶏は飼養管理により出荷時期、コスト、味、うま味等多くの条件成果が変動するため、一定の成果を上げるにはマニュアルに沿った飼養管理が重要である。 また、繁殖性も季節、日齢によって変動が大きいので、年間一定生産を考えた飼養管理が重要である。 そこで、美味しい銘柄鶏が安定して供給できる飼養管理技術の確立について引き続き実施してほしい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 地域銘柄鶏の飼養管理技術の確立 (H26～28) かながわ鶏の飼養管理技術の確立 (H29～33)			
対応の内容等 かながわ鶏の飼養管理については、現在ヒナの初期栄養管理技術に取り組んでおり、その結果を踏まえて特性にあった飼養管理方法をお示ししていく予定です。 かながわ鶏の飼養管理のマニュアルとしては平成28年11月に「かながわ鶏飼養管理の手引き」を作成しました。今後も試験研究で得たデータを反映させて改訂を図っていきます。 種鶏の飼養管理についてもデータを蓄積して、かながわ鶏ヒナの安定供給に努めます。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			